

琉球大学学術リポジトリ

講義ノート : Ricaudo

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38508

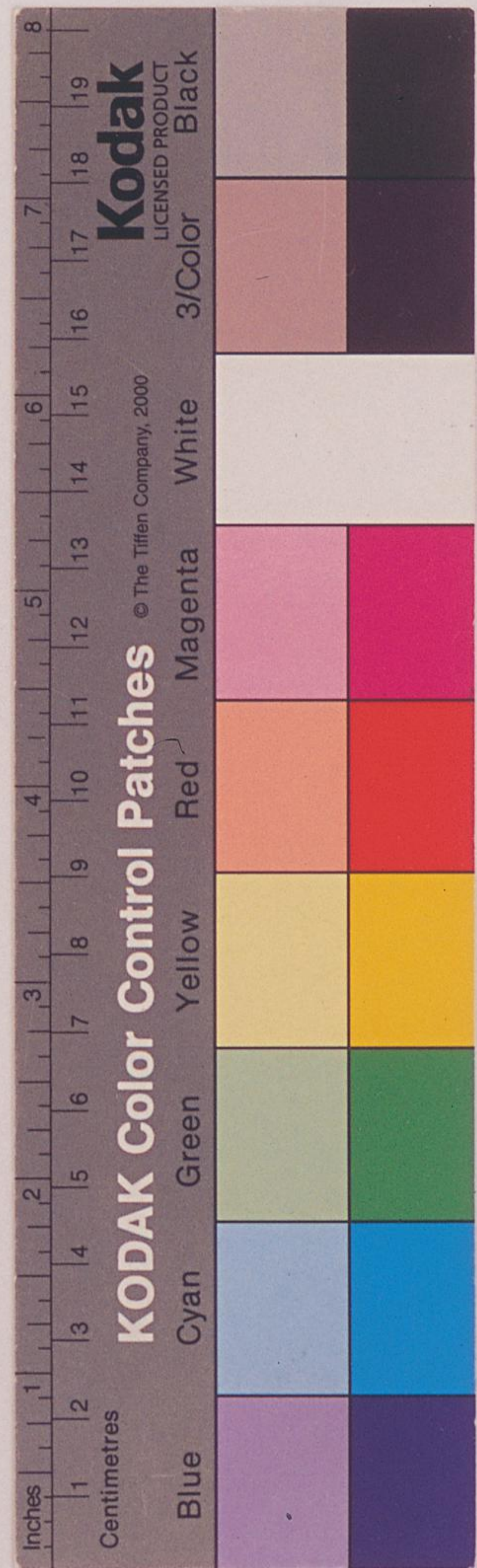
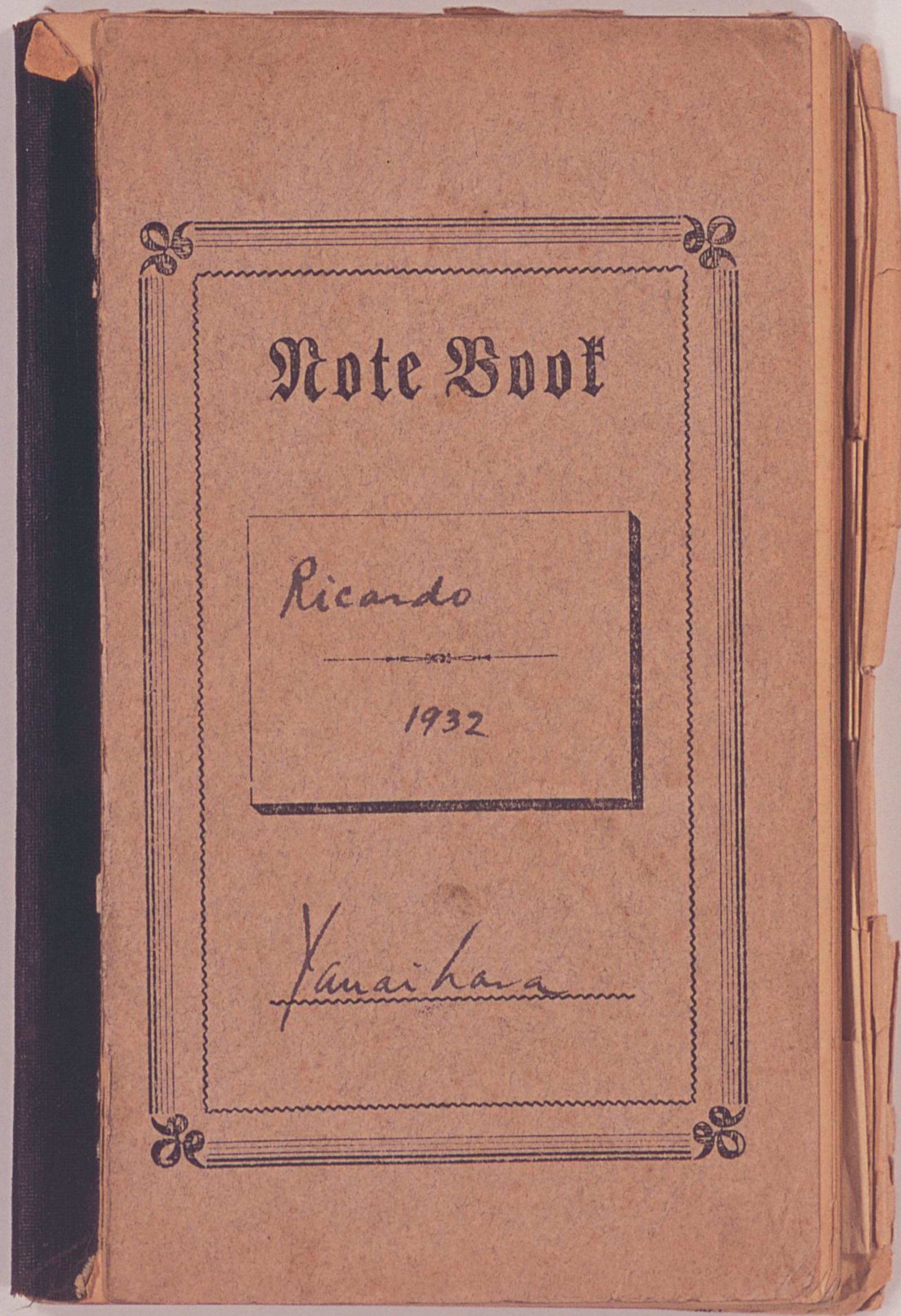
矢内原忠雄文庫

史料名	Ricaudo 1932 * 受講生の名簿と講義ノート
封筒番号	529
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 24 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

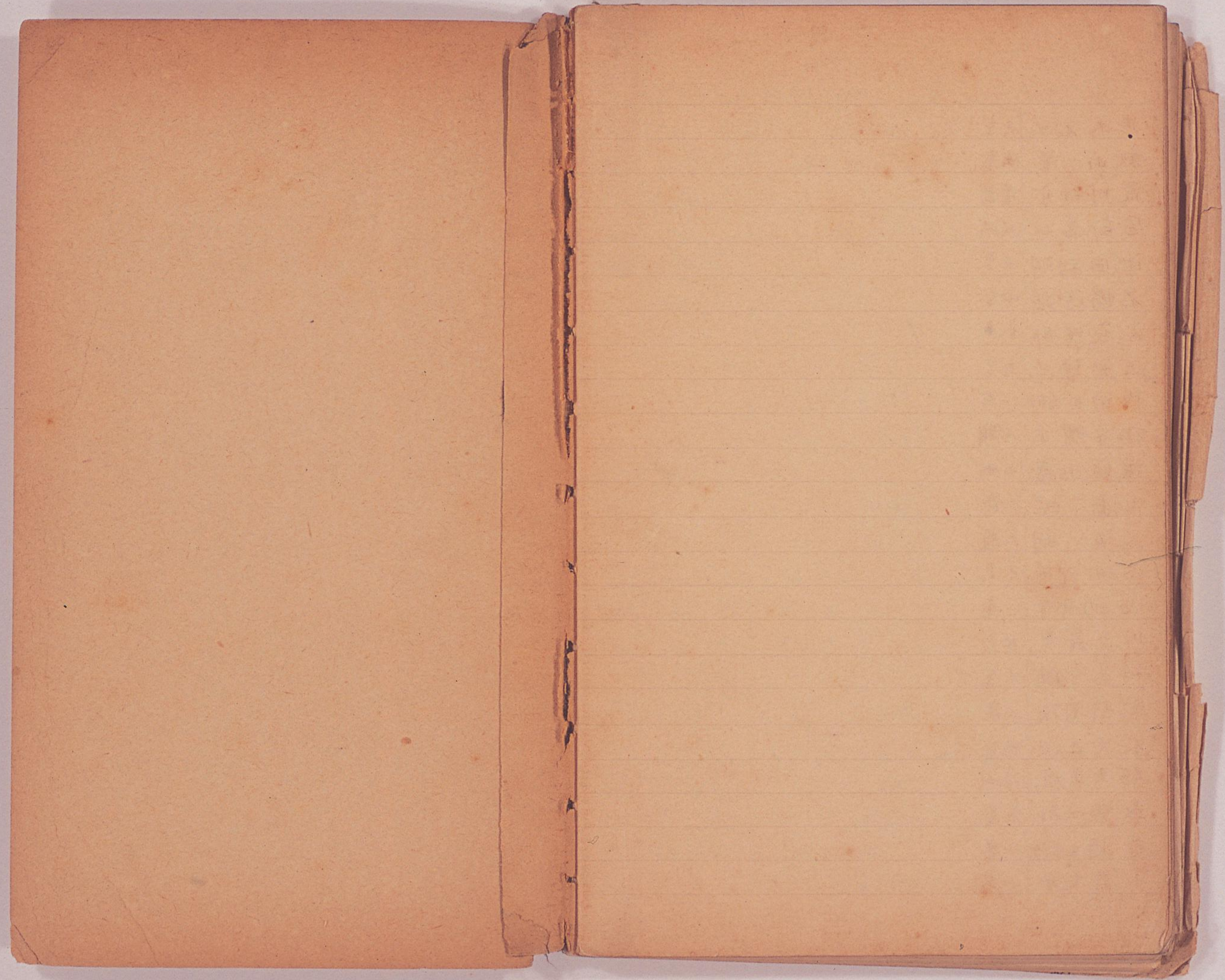
矢内原忠雄文庫

封筒番号 : 529

史料名	Ricaudo 1932 *受講生の名簿と講義ノート
資料形態	ノート
枚数	22
页数	44
縦 (cm)	20
横 (cm)	13
厚さ (cm)	
書誌的事項	講義ノート 記述は22枚目まで 挟み込み名刺、名簿あり 表紙がとれている 今泉分類記号 : Y



1/10



		May 17		Nov. 25	
水谷啓二	五高	'	32		a
水野重幸	一高	a	116.117	good	.
宮崎重孝	富山	'	146.(p.399-21), 147, 148		. bad
武藤好正	六高	a	150		. bad
村野孝	弘前	a	151 (p.15-25)		a
矢吹修	二高	a	p.415-418		.
山澤龍生	二高	'	p.418-420		a
山中一朗	浪	'	35, 36, 37		. good
山野富次郎	松本	a	821	欠	a
山村一昭	四高	a	38		. good
渡辺孝	五高	a	39		. bad
尾崎一郎	東京	a	827		
森邦隆	七高	a			a 846 (105-113) 2(箱)
秋丸次朗	彦科				a 847 (111-117)
泉彌栄	大津		40		. bad
浦野徳香	新法				117-122 848, 49, 50
福島昇	以6.入室				. de

Feb 6
 試院延期

福島昇
 横濱市鶴見區
 東寺尾町一六二〇

		May 17	Nov. 25	Feb 6
水谷 啓二	五高	32	a	
水野 重幸	一高	116.117 good	.	記録延期
宮崎 重孝	富山	146. (P. 392), 147, 148	. bad	
武藤 好正	六高	150	. bad	
村野 孝	弘前	151 (P. 152)	a	
矢吹 修	六高	P. 415-418	.	
山澤 龍生	二高	P. 418-420	.	a
山中 一朗	浪	35, 36, 37	. good	.
山野 富次郎	松江	821 欠	a	a
山村 一昭	四高	38	. good	.
渡辺 豊	五高	39	. bad	.
尾崎 一朗	東京	827	.	.
森 邦隆	七高	a	846 (108) 2(10)	349-354 good
秋丸 次朗	彦科	a	847 (117)	.
泉 彌栄	秋科	40	. bad	.
南野 修吉	新法		117-122	.
福島 昇	26. 入京		848. 49. 50	P. 131-136

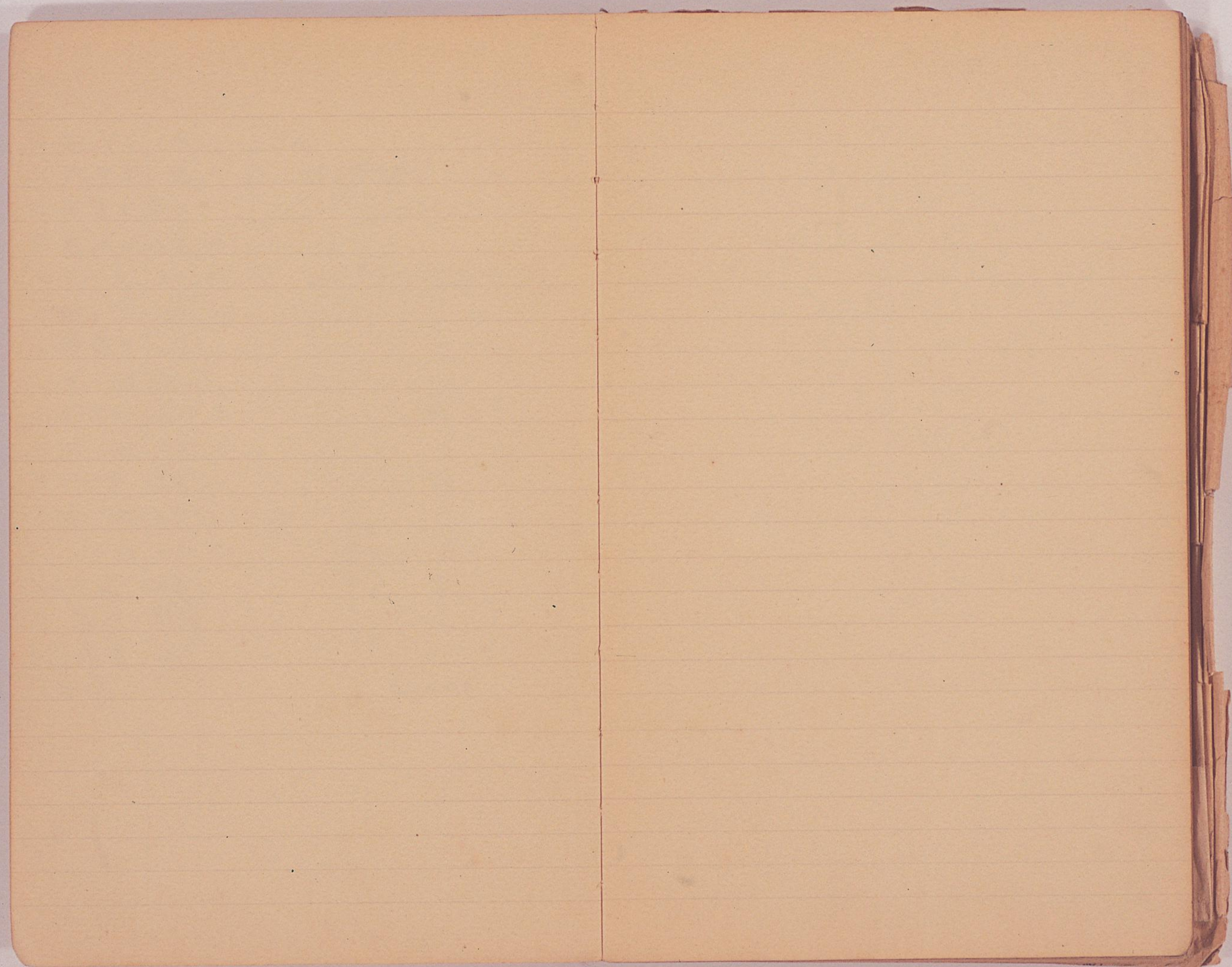
福
島
昇

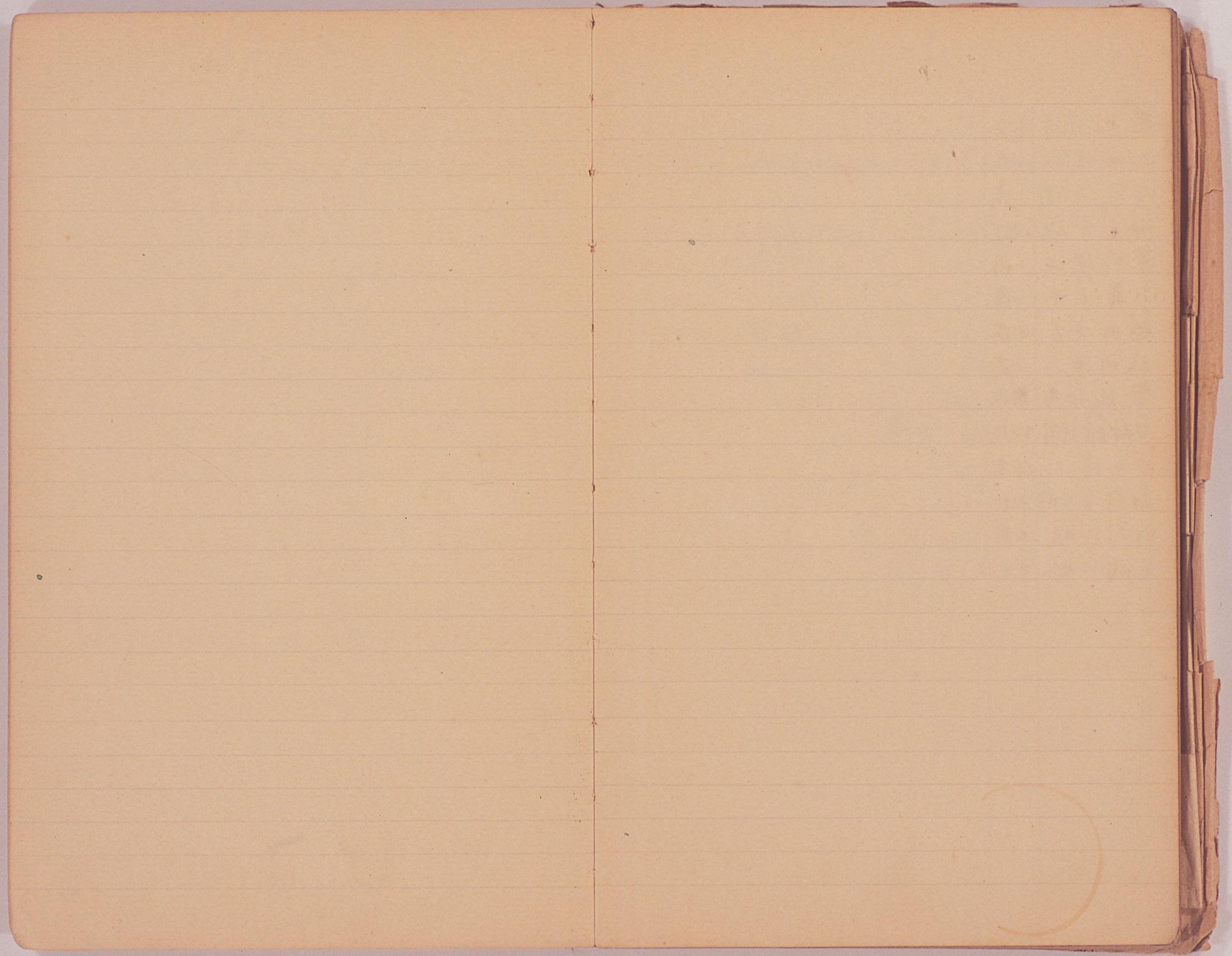
横濱市鶴見區
東寺尾町一六二〇

挿入文書

挿入文書







		Theorien	
有	荒川 研介 廣島	4.56	26.27 P.15-181
✓	上原 悌三 三高	7	28.29 P.23-78
✓	内田 正次郎 一高		25. 151-165
✓	(神光 秀雄) 大連	8.9	
✓	菅野 園田 二高	12	P.181-197
✓	小島 立平 一高	13	P.133-171
✓	越田 登吉 四高	14.15	197-208
	坂田 進一 一高	16	208-216
✓	曾根 初馬 静岡	17.18	P.78-98
	刀祢 武男 姫路	19.20	19.20
✓	西原 陽三 福岡	21-23	
	山野 富次郎 松江	2	
✓	山村 一昭 四高	24	
	尾崎 一平 東京		30. Oct. 22

利潤率の定義
 (1) "Ricardian rate of profit." 純 Value 中、賃金と利潤の割合。
 (2) 資本の利潤率 (Marx). 純 Value 中、利潤の割合。

"Value" in Ricardo

(I) { Value in use, Value in exchange. } P.5.

(II) { absolute value (p.16.) positive value (Letters to Trower q.151). real value (p.269 & 308. Letters to Trower p.155 & 162). [natural value (p.308.376) = Labour value] P.16. relative value (comparative value) P.361. use absolute value = use exchangeable value } P.2.

Value の 原因 及 測定

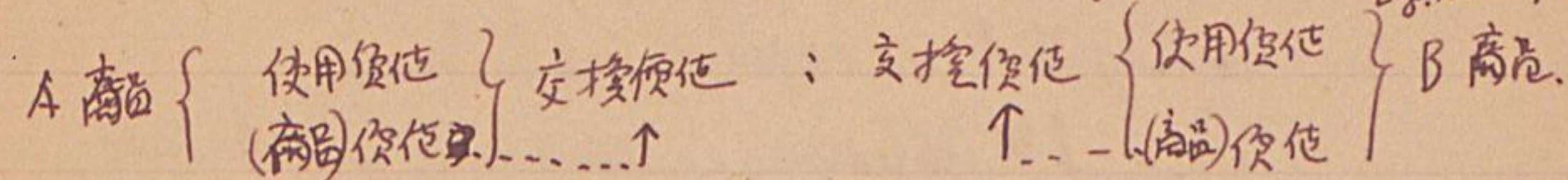
原因 - Utility, Scarcity, Labour.

「生計」: 労働に費した時間の価値物である (人は一定に cost するもの。Nature は人に何の cost もせず)。価値物は労働者の共通の尺度に還元される。故に cost するに費した労働の量に比例して価値を測り得る。

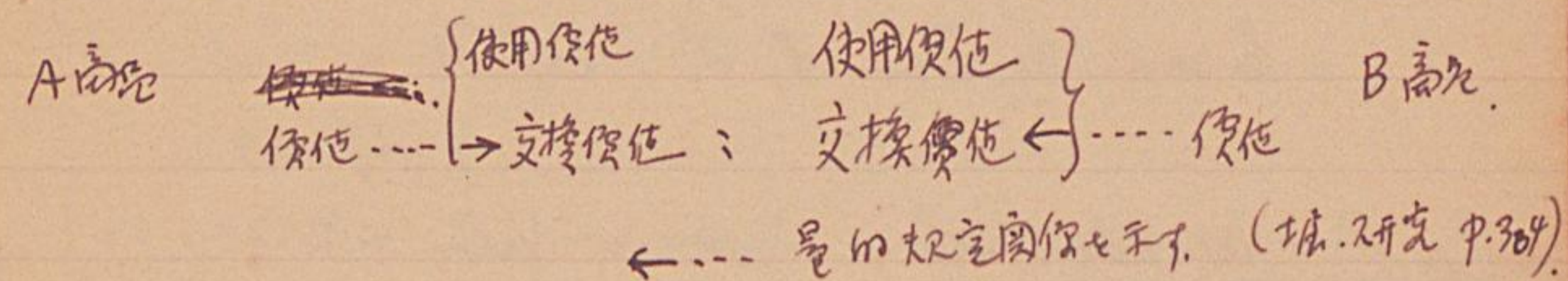
"toil & trouble of acquiring it" P.7 Ad. Smith.

Value something useful (主観的) Marginal Utility Theory something costed (客観的) Labour Theory.

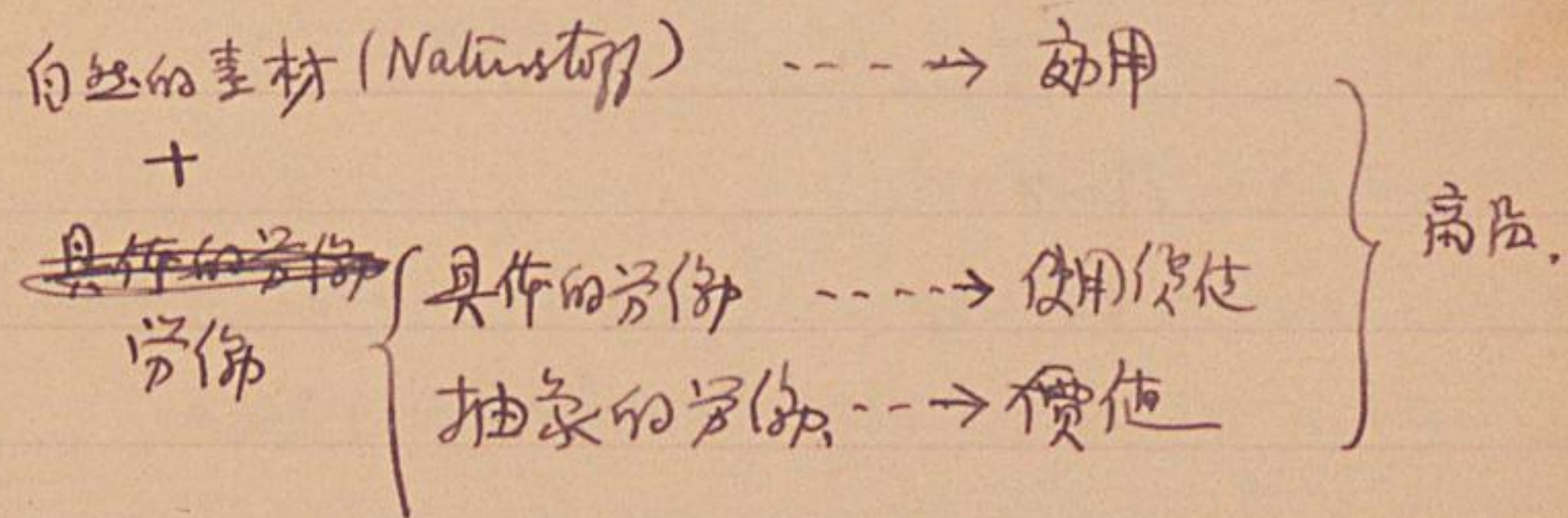
by Marx. 何れの商品も使用価値の一般の源泉 (use value in general - Böhm-Bawerk Eng. Trans. p.382.)



by Ricardo



What is Labour?



"Labour is its father & the earth its mother" (Marx, Das Kapital p.17)

Criticism by Böhm-Bawerk.

Use Value in General. } Labour 以外の Value の 原因: Nature. Scarcity. } 81, 324.
 "Is virgin soil a product of labour? Or a gold mine? Or a natural seam of coal? And yet these often have a very high exchange value." (英訳. P.383)
 timber - an oak tree of 100 years (P.387)

Criticism of Labour Theory of Value by Böhm-Bawerk
, Kapital u. Kapitalzins."

1te Abteilung. Geschichte und Kritik
der Kapitalzinstheorien.

S. 367-398 "Marx."

transl. by Smart, W. "Capital & Interest"

p. 367-392.

(1) Adam Smith の Labour or Value の説は如何なる

"Smith" は如何なる
論者にして、Friedrich
は如何なる "Value" の
論者にして、Ricardo
は如何なる "Value" の
論者にして、Marx
は如何なる "Value" の
論者にして、Böhm-Bawerk
は如何なる "Value" の
論者にして、

Ricardo の説は如何なる。その例を以てする

(修正)

その学説は "anthologies" なる。

(2) Marx の説

1st step - 交換に於ては両物に共通する用度の要素の
一致が、この交換価値の基礎。

2nd step - 交換 Use Value たる物に於て、何れも
交換に於ては use value は世に視せざるべき。

3rd step - Use Value 世に視せざるは、
其に於ては共通の要素は、この交換価値の
物たることを示す。高きは交換の
是行に於ては、Ricardo の説に
一致する。

1st step は正しい。

2nd step は半分の正しくない。交換に於ては
disregard せざる use value in general
は如何なる

3rd step は全然誤り。Use Value 世に
視せざるは、常例の交換の要素の外に、次の
要素に交換に於ては如何なる
scarcity (demand & supply)

nature (virgin soil, gold mine 等)

time (an oak of 100 years).

交換価値の説は如何なる。

- 1) scarce goods.
- 2) skilled labours の説。
(complicated labour = a multiplex of
common labours なる fiction
に於て)
- 3) abnormally paid labour の説
- 4) exchange value = labour cost は如何なる
ex. value は如何なる交換(絶対的交換)
に於て、如何なる交換(相対的交換)に於て
- 5) "time" element. 如何なる previous labour の
greater advance なるのが exchange
value たる。Ricardo は如何なる (平均利潤論に於て)

要するに
Labour Theory は particular laws of value に
対して Exchange Value に如何なる影響を及ぼす
に於ては、如何なる an ultimate cause なる
一 particular & immediate cause なるに於ては
Universal nature of Value に如何なる影響を及ぼす
一如何なる原因に於ては、如何なる
Universal Law of Value -> 交換価値の説

ト第位ニ リカドノ研究.

取版. 貸金の騰貴は価格の下落と兩立し得べしとの事ヲ力説す.

兩ニ 固定資本と流動資本との比例を同じくせば.

又ハ 固定資本の耐久力を著しくせば 二産業の生産物の交換比率

ハ 貸金、騰貴即ち利潤の下降の爲メ変動す.

此場合、固定資本部分 定むる所カ 或ハ

(A) 固定資本の使用久しに堪へざるの 比價は下降す。

(B) 或る所の 比價は騰貴す。

Ricardo 氏ハ 其 A の場合 (貸金騰貴の爲メ 生産物價格下降す)

を常用し (B) の場合 (生産物價格騰貴の一面) を言はせし
ハ 何れ也カ.

Hollander 氏ハ 之を解じ 1813 年 Ricardo の 唱へし
實際政策の主張に 對シ 理論的根拠 示し以て 其
の矛盾を以て 示す. 其の R. の 實際政策上の 主張 是

(1) 利潤下降の 原因は 尙尙 貸金騰貴の外に 求めん可し.
(Malthus に 對す)

(2) 用債利率と 穀物價格に 應じて 低減せしむる 力カ
の 衰へに 對す.

(3) 穀物輸入の 根拠は 一般物價の 下落を 求むべし
との 世帯間の 憂患に 對す.

以上の 三點 主張の 爲めは 尙尙 貸金 (穀物) の 騰貴を
必しも 價格を 騰貴せしめしむる こと 預めざる 必要あり.

其に (1) に 同様の Malthus の 論争 (利潤下降の 原因).

Ricardo 氏 尙 穀物輸入の 制限は 貸金を 騰貴せしむる

利率の 下落を 伴ふ. 而して 農業資本の 利潤は 他の一
部 産業の 利潤を 支配す. [此は 貸金騰貴し 價格騰貴
すは 騰貴せざる 故に 証明せざる 可し. 何れ也]

Malthus 氏 尙 農業資本の 利潤は 他の一産業の 利潤を 支配

すは 騰貴せしむる 利率の 下落を 伴ふ. 而して 農業資本の 利潤は 他の一

産業の 利潤を 支配す. [此は 貸金騰貴し 價格騰貴すは 騰貴せざる 故に 証明せざる 可し. 何れ也]

切に 注意す. 即ち 外國市場の 開放は 國內高利の

價格を 騰貴せしむる 故に 農業資本の 利潤を 騰貴せしむる.

政府 農業上の 利潤を 騰貴せしむる.

取版

貸金騰貴の 例外に 對し 「流動資本の 回轉期間の 短縮」を 意味す.

貸金騰貴に 利潤下降 同時は 一般に 其中 其の 在る 同様に 比較的

長時を 要す 故に 其 比價 下落 する こと 是也. (生産に 對す

時 貸金騰貴と 併し 貸金 騰貴 原因 あり也)

取版

生産物の 價格の 下落 (貸金は 比價 騰貴すは 或は 是に 堪へ 得ざる 故に)

(1) 生産物 價格の 下落 (貸金は 比價 騰貴すは 或は 是に 堪へ 得ざる 故に)

(2) 生産に 用ふる 固定資本の 貸金 耐久力を 同じくす
場合 是也.

其外 故に 貸金は 利率の 騰貴を 求むる 故に 貸金
の 変動 (即ち 利率の 変動) による 変動す. (見 Sec. 4.5)

生産に 對す 時 利率の 騰貴の 原因?

7 若し 生産物 價格の 騰貴せしむる 利率の 騰貴は 貸金騰貴による 故に 是に 對し
貸金を 騰貴せしむる 故に

Ricardo の McCulloch に対する意見

「貸付は有りて有る比例に貸付の貸銀と利潤の差額を要する
 種合より或る程度に下る尺法(蔵材を投下する)より測定
 せしめ貸付と貸銀と利潤の比例に於て精密に一致する事は
 是を精密に測定せんとすを得ず。貸銀の利率を以て
 利潤を全するものは Malthus の尺法であり、是は利流
 利流と共全の貸付に對しては正確の尺法なり、
 ... ~~他が利流~~ ~~利流の外に他は~~ ... 他が利流
 (利流の外に他は) 利流の外に他は利流より、
 貸付の蓄積の割合であるから、是も亦貸付の尺法なる面あり
 ... 畢竟 数字的 正確を有す、貸付の尺法は是を求む
 得べからず。(他が利流の尺法は是を以て一因にして
 利流と利潤とに比例の異なるに因して存す。この
 比例の異なるは利流の外に他はを以て包含せしむる割合及
 利潤の大小に依りて異なる。而して是等の異なるは利流に
 依りて異なるの貸付の尺法に存す。又全の利流に依りて
 異なるを知る。)

Malthus

「貸付が通常支取すべき利益は、投下する借銀と利潤の差額
 を代表す」
 (泉氏批評) Malthus の「貸付の利益」は既有的貸付の大小を
 測定する標準を得べからず、その増減は借銀の貸付
 の増減せしむる原因の比に依りて異なる。是に
 Ricardo の Malthus 批評は功を成し得べし。

Malthus ... 「投下する借銀は貸付の主要の因(cause)とす、其
 尺法は利流、是の利流は貸付の因に依りて異なる」
 ("Political Economy 2nd Ed. p.83")

Ricardo

(A) 利息の利 = 貸銀 + 平均利潤
 = 貸銀 + 平均利息 + 平均利潤 = 貸銀 + 利潤
 = 生利費

(B) 利息の利 = 貸付の利益
 = 投下する借銀

此の利は 同額の貸付が異なる利流を代表し、利流の
 測定を利流とす。是の利は 平均利息と利潤と
 平均の作用により、平均利息の利流に依りて異なる。

此の利流には次の条件を要す

- (1) 貸銀の利は 投下する借銀と反映する
 - (2) 貸付の支出中に 借銀の利の割合が同一なる
- Ricardo は (1) を認め、
 (2) は自ら實際に備はすべしと承認し、
 その利流の比例に依りて異なる。
- Ricardo 以後の貸付の利は此の二条件に依りて異なる
 投下する借銀と貸付の利の関係を論ずるに依りて異なる
 貸付の生利費は 貸付の利に依りて異なる。

平均利息 = 生利費
 = 投下する借銀(利息)
 とす。

Senior

(1) 完全なる競争の行はるる下には利流は貸付(利息)は生利費に
 一致せしむるを得。生利費 = 平均利息 + 平均利潤に依りて異なる。是の
 利流の利は 平均利息と利潤とに依りて異なる。

(2) Ricardo 以後の 地代と亦 利息の構成要素とを以て、利流
 の利流と利息の利流とを以て異なる。

(3) 借銀の利は 平均利息と利潤とに依りて異なる(特に 地代と亦 利息の構成要素とを以て異なる)。
 借銀の利は 投下する借銀と代表する。

Mill J.S. 価値と労働の関係

Ricardo 説と異なり... 賃金労働に對する賃金 (Seniority 賃金) 加 労働量と並んで賃金形成要素なり (即ち賃金が必ずしも労働量と代表相切なりせず) 但し Mill は Senior と異り、土地の rent は賃金の構成要素なり (此点 Ricardo 説と同じ)

Carinas

"non-competing groups" 説。— 労働者間に競争的でない異種の労働者間に競争的でない賃金決定。従って賃金は低下労働者を代表す。

Senior-Mill-Carinas (生産費説) の要旨

一貨物の生産に費した労働量は、賃金率及利潤とを使った生産費を構成す。即ちそれ以外に生産費の一部分を空村に於てのみ生産物の交換比率決定に寄与す。

Jevons

費用学説の切りに及ぼす。
価値の要因は utility 及び 労働 (又は生産費) である。
但し 労働は 価値を決定する 要素 (交換比率) には 直接的に 影響を 与へない。
「生産費 (費用) は 供給を 決定す。
供給は 最終利用を 決定す。
最終利用は 価値 (交換比率) を 決定す。」

Ricardo と Jevons の 相違

- (1) Ricardo は 労働の 価値の 源泉 たる 労働 量を 重視す。
- (2) Ricardo は 貨物の 任意可換物 たる 労働 量を 重視す。
- (3) 前者の 価値は 労働 量に 依りて 決定す。
- (4) 後者の 価値は scarcity に 依りて 決定す。

上述の 相違に 説明するに Jevons 説と 相違す。

貨物の 価値は marginal utility に 依りて 決定す。
(a) 限界利用の 労働 量に 依りて 決定す。
(b) 貨物の 供給 量に 依りて 決定す。

Jevons 説の 優劣

- (1) Ricardo の 如く 価値は 労働 量に 依りて 決定す。一般の 共通の 基準の 価値 決定に 依りて 決定す。
- (2) 前者の 一般の 価値 決定に 依りて 決定す。労働 (需要) の 一面の 決定に 依りて 決定す。費用 (生産) は 決定に 寄与す。
- (3) Total utility と marginal utility の 相違に 依りて 決定す。使用価値と 交換価値の 一律性も 説明す。

森耕=『リカルドの価値論の研究』 2/103

Ricardo (Gonner 版 P.50)

価値の量的規制たる労働は 社会の平均労働を意味する也。或は 最大労働量 (最も不利な条件下の労働) を意味する也。(Gonner, Hollander etc)

「打撃」は一般、普通、自然、困難、を有する平均的労働者の生産量を決定す。Patten. (表 P.170)

市場価値を決定する生産費は 市場需要の支配的労働者供給する労働者の生産費なり。

- (1) 最も有利な条件下の労働者の生産量に於ては 社会的平均労働量に一致す。
- (2) 最も不利な条件下の労働者の生産量に於ては 最大労働量に等し。(Ricardo)
- (3) 最も有利な条件下の労働者の生産量に於ては 最小労働量に等し。(Storch)

Ricardo にも同じく分析は行はる。(表 P.176-180)

Ricardo の Relative Value

- (1) 労働時間により決定せられた交換価値... 之は絶対価値又は実質価値に同一なり
- (2) 他の貨物の使用価値に之を比較したる交換価値... 之は前記の絶対価値又は「比較価値」なり。(表 P.194)

Ricardo はこの区別を以て、交換価値とは「高率の交換比率」を意味する也。

価値は 相対 (比率) 的也。或は 絶対的 (大数) 的也。
(relative value) (real value, absolute value)
両者の区別あり

- Manx にも (1) 相対的 (社会的実体、抽象的人労働の大数)
- (2) 絶対的 (価値の表現形態、即ち交換価値) 也。

二物間の交換の比率決定は 一物に質的に共通する一物の存在を前提とする。二物一物は労働なり。之は平均労働と貨幣との関係。労働は貨幣に表現せられたものである。 (貨幣は労働の表現形態) 表. P.20

Ricardo は二物間の交換比率に於て、
彼は価値の大小の主要因として、労働の量的規制たる労働の単位性質を深く考察す。

生産価値 = 労働者価値 + 平均利潤

総利潤 = 労働者価値
... 社会の平均的
生産価値 = 総価値

Ricardo は価値と生産費を混同し、
利潤率の存在を前提し (即ち利潤を算出) 価値の割合を以て説明し得ず。

平均利潤率を以て「価値」を決定する場合は、
相対的価値と意味する也。

平均利潤率法則の現象形態と労働価値法則の
本質的関係の分析は困難 (両者の異なる
価値論的立場) あり。而して此は Marx の
Kapital Bd III にも分析 (主要因) (価値の生産
過程の轉化、Mehrwert の分配) あり。

表. P.325

小泉行三、リカード研究、7/183

Ricardo on Rent.

地代論争の時代の序幕

Napoleon 露戦に引致し穀物下落は土地を側面攻撃を受け Corn Law 改正(輸入税増徴)法律上免れぬ。

Ricardo は輸入税引上と交渉す。理由由は

国内穀物の引上は地代の増加を招き Profit の減少を招く。(Profit の一部が地代に移る)

この際 Profit の減少は

- (1) 穀物価格に引上 Wages の増大
- (2) 同一資本投下による生産物の減少(耕作地)
- (3) 農業資本の利潤下落は一般資本の利潤下落をも引上招く(利潤率平均化)
- (4) 農業資本内部に於て賃金地と所有者との間に二種の利潤率が生ずる。而して穀物価格の引上は耕作地の所有者の資本の利潤を「規定的」に減少し、賃金地の資本の利潤を引上し、所得せしめるものと新開の資本の利潤との差額は地代となる。

故に地代は利潤率の控除額。

地代は賃金の源泉にあり、賃金の源泉は投下労働量なり。

自然生産力の地代を生ずるに非ず。自然生産力の difference が地代の源泉なり。(他者の自然生産力に劣る者からの自然生産力なり)。

自然生産力は Riches、平均価格は Value の平均に非ず。

故に自然生産力の差額に於ては rent あり。

貧弱に於ては rent あり。

rent は土地豊度の差額に非ず。土地豊度の差額に非ず。rent は富の創造に非ず。平均生産物に非ず。

穀物論争の巻頭

1813年5月、House of Commons の委員会に Com Trade に関する Report。

同年6月、右委員 Parnell の演説

穀物自給の引上は次の如き危険及び有害を招き、

1. 地代暴落を招く。
2. 労働者は穀物価格の安定に非ず。
3. 製造家は自らの最上の顧客たる農夫の利潤の減少を招く。これにより、しかる物産も下落せしむる危険を伴ふ。(国内農夫の利益)
4. 財政赤字... 他国に依存せしむる危険を招く。

Ricardo.

穀物自給引上は地主の利益を減少せしむるに非ず。耕作地は

穀物引上は、労働者は穀物価格の安定に非ず。賃金は利潤に非ず。地代は利潤に非ず。

国内の自然生産力の差額は輸入税に莫大に depend するに非ず。賃金の源泉に非ず。(自由競争論)

論の要旨

最良の耕作の地を食料品の供給地とする事は、
新著 Malthus, Ricardo 共に

Ricardo 等は、資本の移動、employment の
比較の大小、利潤率の移動の方向と認め、
Ricardo は、この最大は食料供給の地を移す
行はるべしと云ふ、(永続的利潤は立派な地)

Malthus は、the employment of new capital は
最良の地をなくとも、他の事情から new
market の発見により、以前より大に外
貨の量と我國の供給とを交換し得る地
の利潤は勝るし得べしと云ふ。

又農業資本の利潤は他の利潤と同等の
地から他の資本の利潤と本農業資本の利潤
と云ふ。

Malthus の土地の分配

1. 土地は耕作者と資本以上の生産物を出力する
2. 生産物価格は、其自給の必要量を造る
と供給するに
3. 最も肥沃な土地の比較的低少な地

Ricardo

rent 額と使地説

資本蓄積は value 説に修訂を要する所と云ふ。
(固定資本の流転資本: 資本回収の時)
と云ふ。地代は value 説に修訂の所因と云ふ。地代は
value の所因と云ふ。是を力説せしむ。(P. 44 読書)

絶対地代

Ricardo に於ては存在せず。 [資本蓄積 + 人口増加]

土地への最終投資は地代 = 生産費、即ち自給に
ては、^{資本蓄積の}最終平均利潤は最低の地を以て
是より、土地の肥沃度の^{減少}に労働賃金(労働
費、生産物の価格)を以て決定するに非ず
は、投資は行はる。この場合人口の増加は
行はる。地代は絶対地代となり、行はる。地代は
と云ふ。然るに、この場合人口増加は
Ricardo に於ては認められぬ。人口増加
は資本蓄積(資本の移動)の所因と云ふが、
この場合資本の移動は投資を要するから、人口
増加し得ないとの事。

Rodbertus

絶対地代は存在せず。
(1) 生産物の供給に費用が掛かる。
(2) 土地の肥沃度の
不均等。
(3) 土地の資本の所有物。

一箇の労働生産物の供給 - 賃金(生産物)供給 = 絶対地代
= 賃金 (Rente)

賃金 (Rente) は土地及資本の所有権に基き、地代並に
資本家に帰す。この場合の地代は、~~資本~~ 資本蓄積及生産
に費用を要する。直接及間接の労働量に、両者各々同
様の労働を要するに非ず。Rente 供給は均等に分配さ
る。絶対地代は、農業に均等の Rente 供給中より、農業資本
への利潤を決定するものなり。是より、資本の均等
性を示し得る也。(即ち常に地代を差し得る)と云ふに、是也。
農業資本の利潤は、製造業の利潤率(利潤/資本)に
等置せしむ(同一存在の所因)。是より、生産物の

賃金と地代との相対的関係は、農業機械の普及(労働の節約)及び西洋
 の労働に於て、平均賃金は出費に比し資本財の同一用途
 するに於て賃金に比し入るより多し。故に農業は平均賃
 金に比し出費に比し之を超過せり(土地は労働に比し賃金に
 比し之を超過せり)。故に①農業に於ては平均賃金は Rente である
 故に平均賃金に比し之を超過せり。②農業は平均賃金に
 比し之を超過せり(工業に於ては平均賃金は Rente である)に比し
 工業に比し之を超過せり。③この工業に比し平均賃金は同一用途
 するに於て農業に比し之を超過せり。故に農業 Rente は(農業
 に比し平均賃金に比し之を超過せり)平均 Rente の一部分の Surplus
 に比し之を超過せり。故に平均賃金の地代である。

Robbertus 説批評

1. 同一労働に於ては平均賃金は資本財の同一用途に比し之を超過せり。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。
2. 平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。
3. 平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。

Robbertus 地代説は成立せず

彼の前提は、平均賃金は平均賃金に比し之を超過せり。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。

農業と工業とに於ては平均賃金の構成に異なり。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。

[Ricardo 賃金論]

労働の交換比率は平均賃金に比し決定せり。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。故に平均賃金は Rente である。

Ricardoの通貨論

当時の通貨論... 不換紙幣發行を禁止し、金貨の發行を
許す地金の騰貴、並に外貨の下落(通貨)

(1797. 英蘭銀貨の通貨拂出を停止す。
並に同様に不足以下一磅以上の銀貨發行を許可す)

Ricardoの主張 "High Price of Bullion." 1809.

英蘭銀貨騰貴の減少
議會に於ける通貨委員會の報告
銀貨發行量の減少のため兌換を復旧せよ

Ricardo 通貨論の発展 "Proposals for an Economical
and Secure Currency" 1816.

銀貨發行量の減少 - 兌換の回復
他は銀貨の利率 (economy) を保持するもの
に兌換を行はば、通貨は次第に兌換に適合
せよとす

Ricardoの貨幣価値論 (貨幣数量論)

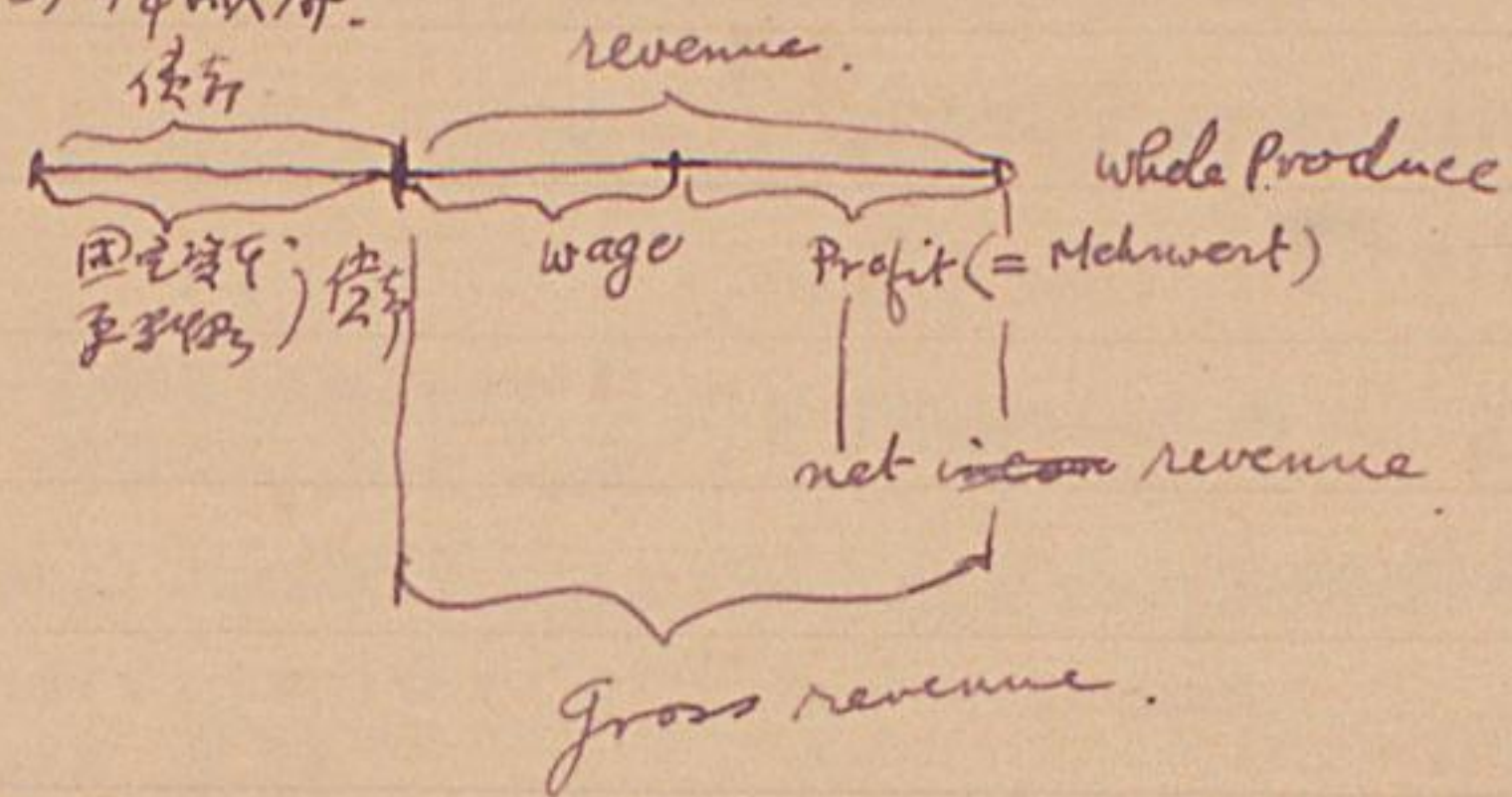
貨幣の価値 (購買力) と其数量との反比例 (数量論)
"Ricardoの法則 - 貨幣の価値は其中に於て、
他は不變の時分に値を定むるものとす、
貨幣量が増加するに於ては購買力と価値とは反比例
に在るに比例して減少するものとす"

- Marx, Kapital III. Bd II. S. 85

Ricardoの貨幣論と貨幣数量論 (補正)

貨幣数量論 = 需要供給論 貨幣論 = 生産費用論
"貨幣は生産費用に比例して定むるものとす、
需要供給論は排除しないうち、却て常に需要供給論に
従ふべきものとす" (P. 471)

Ricardoの損益論



損益論の原理 gross revenueの減少すべしとす

賃金基説の公式

I. A. Smith $L = \frac{K}{P}$

II. Ricardo $L = \frac{K-f}{P} = \frac{z}{P}$

III. Marx $L = \frac{K-f-r}{P} = \frac{v}{P}$

- L ... 賃金
- K ... 資本
- P ... 人口
- f ... 固定資本
- z ... 流動資本
- r ... 原料補助材料
- v ... 可変資本

Oppenheimer 1853

(P. 502)

素朴な

何 Ricardo の価値論は 賃金率の記号から、賃金率の記号から
別物は賃金の貨幣(利)の記号から
労働の量は賃金の尺度を、

労働量 — 内在的価値尺度 (… 同時に利の賃金の尺度)
「不変的価値尺度」… 外在的価値尺度、賃金の一般の表示形態
Ricardo はこれと利の存在を論じて、
(原典 p. 247)

賃金率の記号から、賃金率の記号から、
外在的価値尺度(貨幣)の賃金は不変的を要せず、
又不変的を要せず

内在的価値尺度 — 賃金率の記号 (外部性)
外在的 " " — 貨幣 (賃金の一般の表示形態)

R. は内在的価値尺度の外に、これと一般の外部的に
表現するが、不変的価値尺度を尺度として用いるが、
かかる場合に利の価値尺度は一般の外在的価値尺度に
従って利の尺度として賃金を測定するが、 p. 260
「賃金の貨幣、内在的尺度、外在的尺度は互いに一致するに
あらずして、互いに矛盾するが、これは因果的関係性
に基いて」 p. 263

賃金率の修正

I. 利潤の正の価値に及ぼす影響

Marx ... 同量資本に、利の不可変資本の割合が異なると、
異なるとの価値を有する。従って異なるとの利潤を生産
せざるを得ず、従って利潤率平均の行はれざる
が、高率の価値と異なるとの生産価格を現出する
のなり。(生産価格 = 賃金率 + 平均利潤) p. 298.

前賃金率
(= 賃金率)

(原典)

(修正)

平均高率の生産価格の合計は、この賃金の合計に等しく、
従って利潤は既知の賃金に等しい。(Marx)

II. 賃金の正の価値に及ぼす影響

生産価格修正… 賃金の増減が正の賃金の増減を要せず

Ricardo — 賃金の増減は平均利潤に等しく及ぶ。従って

労働の量は賃金の尺度に依って測定するが、

平均賃金に等しく及ぶ。 p. 312.

従ってこの Ricardo は平均利潤率の法則

を前提に用いている。 p. 313.

従って賃金は生産価格と同等である。

賃金率の修正を要しない Ricardo の平均賃金、平均賃金は
の貨幣賃金に、異なるとの生産価格に外ならず。 p. 314.

自然価格と市場価格

Principles, Ch. 4, 30.

… (自然価格と利の平均率) 自然価格は賃金率と
一致するが、利の動かし難い (利の動かし難い修正) 生産
価格である。 p. 328.

同一生産部門に利の競争

個別賃金 → 市場賃金 (平均的賃金条件下に於いては、
個別賃金は従って平均賃金の
に等しく利潤の平均である)

異なるとの生産部門に利の競争

(市場賃金) → (平均) 賃金 (平均的賃金条件下に於いては、
平均賃金は従って平均賃金の
に等しく利潤の平均である) p. 340

賃金率と地代

Ricardo の地代論に及ぼす影響は、賃金率と生産価格とを同等視した
12.50 賃金と生産価格の競争 (平均的賃金条件下に於いては、
賃金の有する利潤は生産部門の生産物の賃金と生産価格と
に等しい) 賃金率と地代論の競争 p. 381

自由競争が行はるる下には、農産物の生産価格(平均費用価格+平均利潤)と賣取価格(市場価格)とが一致し、土地所有の行はるる下には、農産物の平均以上資本の移動自由は行はるる下、従って生産物は絶對的に生産価格以上の價值に賣出さる。従って絶對地代は生じず。

Ricardo は自給林、炭鉱、石坑等の所有者は地租を得るが、これは利潤に代り地代に對して。従って地代は利潤に土地の生産力(土壌の力)の使用に對して拂はるるに依る。之は絶對地代(地代)の性質を解明する。以上が Ricardo の絶對地代論。 P. 385

賃金論と労働論

Ricardo 賃金論は生産費説(労働生産費説)を以て。

労働生産費説(労働の需要供給の均衡)を以て。従って、賃金は労働の市場価格の決定に依る。一説に賃金は(労働)の供給と需要の均衡に依る。 P. 399

Ricardo の「労働」の價值は「労働力」の價值に。

「労働」は賃金の決定に對しては「労働力」の供給と需要の均衡に依る。Ricardo は「労働力」の概念を有する。 P. 401

「労働力」の概念は「賃金に對しては労働」の概念に依る。 P. 407

労働論の三原理

1. 労働の供給は貨幣若くは生産資料の額、賃金に依る。賃金の額は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。賃金の額は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。 [賃金に對しては労働の供給と労働の需要との均衡に依る。]
2. 労働の供給は労働の生産力、労働の需要は労働の生産力に依る。労働の供給と労働の需要との均衡に依る。賃金の額は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。
3. 労働の價值は労働の生産力に依る。労働の生産力は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。賃金の額は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。

賃金論と利潤論

利潤の來源は Ricardo の見解は「労働生産費説」(労働生産費説)に依る。労働の供給と労働の需要との均衡に依る。賃金の額は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。

Dahl, Böhm ... Ricardo の利潤論は労働生産費説に依る。

Marx, Rosenberg ... 賃金論は労働生産費説に依る。労働の供給と労働の需要との均衡に依る。賃金の額は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。

Ricardo は利潤と労働は同一賃金論の概念に依る。労働の供給と労働の需要との均衡に依る。賃金の額は労働の供給と労働の需要との均衡に依る。

照の切とせよと也。

Ricardoの利潤率論が新価値論を容れず、格差
を認めざる故也。

- (1) 平均的賃金(労働)はそれ以外の賃金より低く
せらるる。
- (2) 労働の生産物と他の生産物の賃金労働の賃金
より大なるべし。
- (3) 利潤と賃金は或る一定の限度、互に分るる
部分に互に反対の方向に動く。

P. 441-442

平均利潤率の理論

Ricardoの理論は二つの部分に分れる。

- (1) 利潤の増減は労働の賃金に比例して自身の生産物の
減少(使用資本は不変)に比例して減少する。
--- 利潤の増減に反対の方向
- (2) 資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変) --- 利潤の増減に反対の方向

Ricardo P. 445

Ricardoの理論は二つの部分に分れる。
第一、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。

批評
(2)の場合... 資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。Ricardoは之を認めず。
蓋しRicardoのpointより考察したる故也。

MarxのRicardo評。

- 1. Ricardoは利潤率と新価値率を同一視す。新価値率が増加
す又は減少すれば利潤率は増減する(不変)と認むるが故也。
Ricardoは、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。

P. 462-3

(MarxはRicardoの理論は二つの部分に分れる。
第一、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。)

Ricardo 価値論の著作は何ぞ。

何ぞと云ふは Ricardo 価値論は

- (1) 一般の生産物とそれとを交換する物。(Marshall, Peck, Combs)

価値論は生産物の交換の理論である。その理論は
Ricardoの価値論と交換の理論とを同一視する。
何ぞと云ふはRicardoの理論は二つの部分に分れる。

- (2) 何ぞと云ふは新価値論の理論である。(Rosenberg
Dennis, Ashley)

Ricardoの理論

新価値論と生産物交換の理論は二つの部分に分れる。
第一、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。Ricardoは之を認めず。
蓋しRicardoのpointより考察したる故也。

(Ricardoは二つの部分に分れる。第一、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。Ricardoは之を認めず。蓋しRicardoのpointより考察したる故也。)

Ricardoは二つの部分に分れる。第一、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。Ricardoは之を認めず。蓋しRicardoのpointより考察したる故也。
第二、労働の生産物と他の生産物の賃金労働の賃金より大なるべし。Ricardoは之を認めず。
蓋しRicardoのpointより考察したる故也。

平均利潤率の理論の存在は如何なるか。

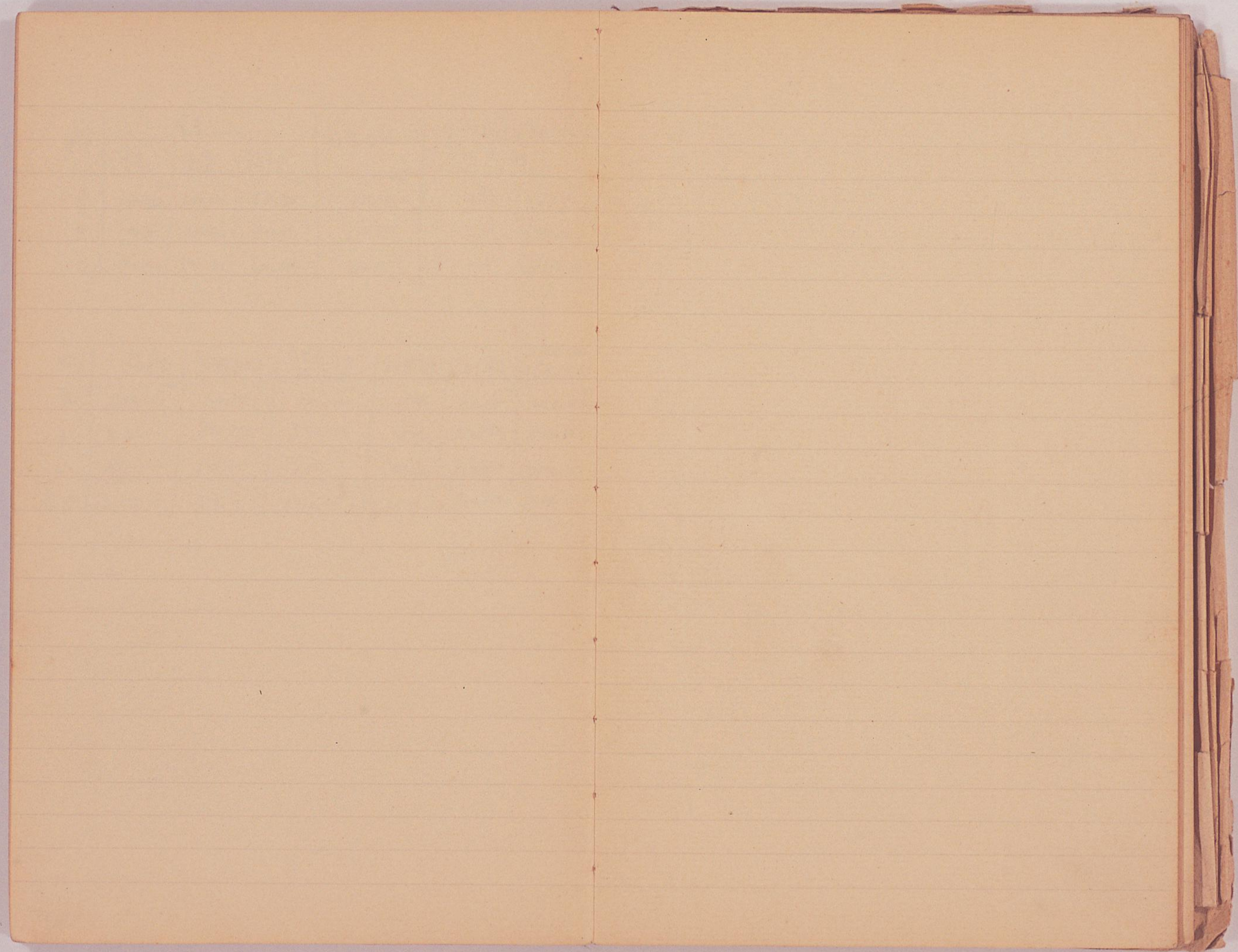
但し、労働の賃金は労働の生産物の減少(使用資本は不変)に比例して減少する。
Ricardoは之を認めず。蓋しRicardoのpointより考察したる故也。

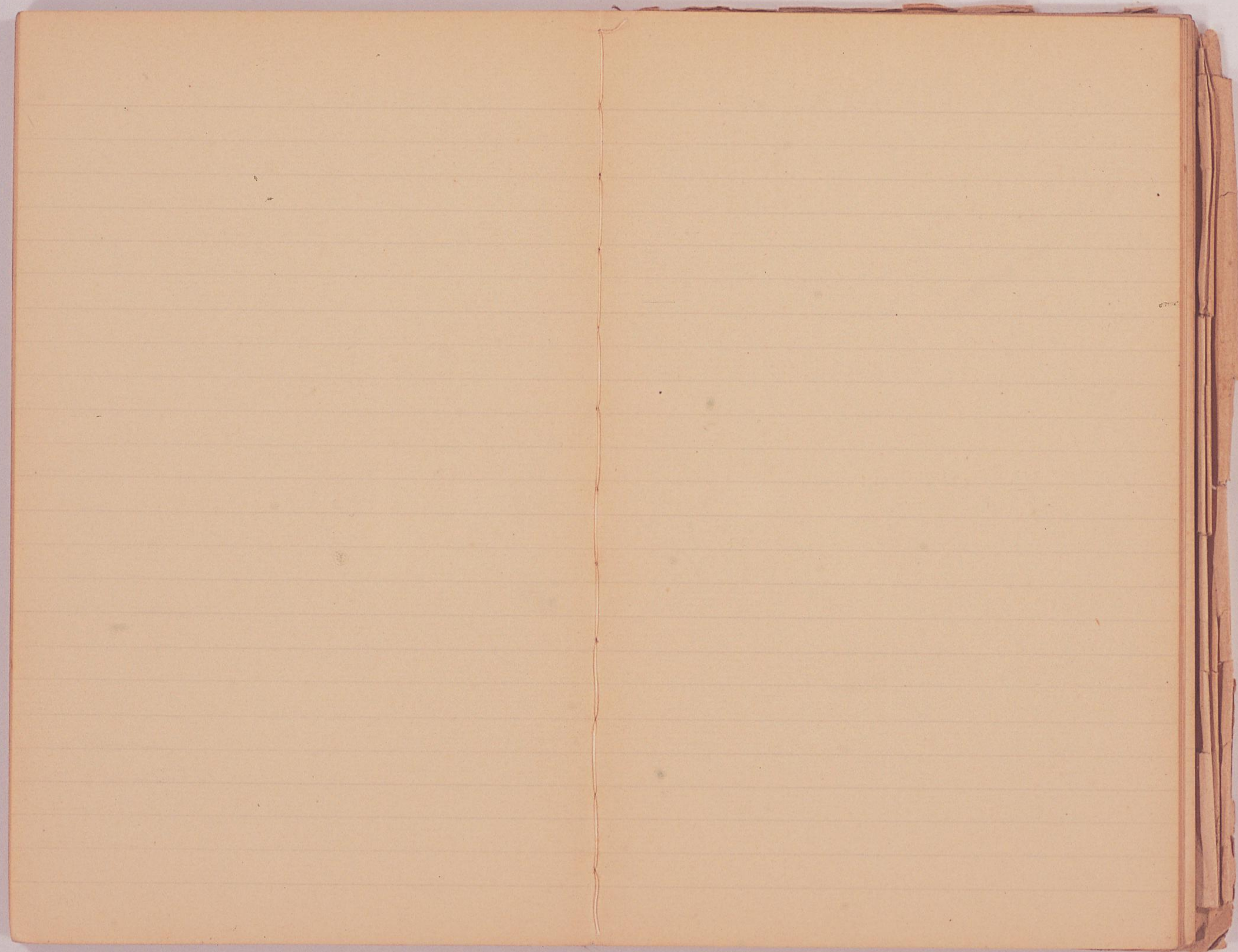
批評
Ricardoの理論は二つの部分に分れる。第一、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。Ricardoは之を認めず。蓋しRicardoのpointより考察したる故也。
第二、労働の生産物と他の生産物の賃金労働の賃金より大なるべし。Ricardoは之を認めず。
蓋しRicardoのpointより考察したる故也。

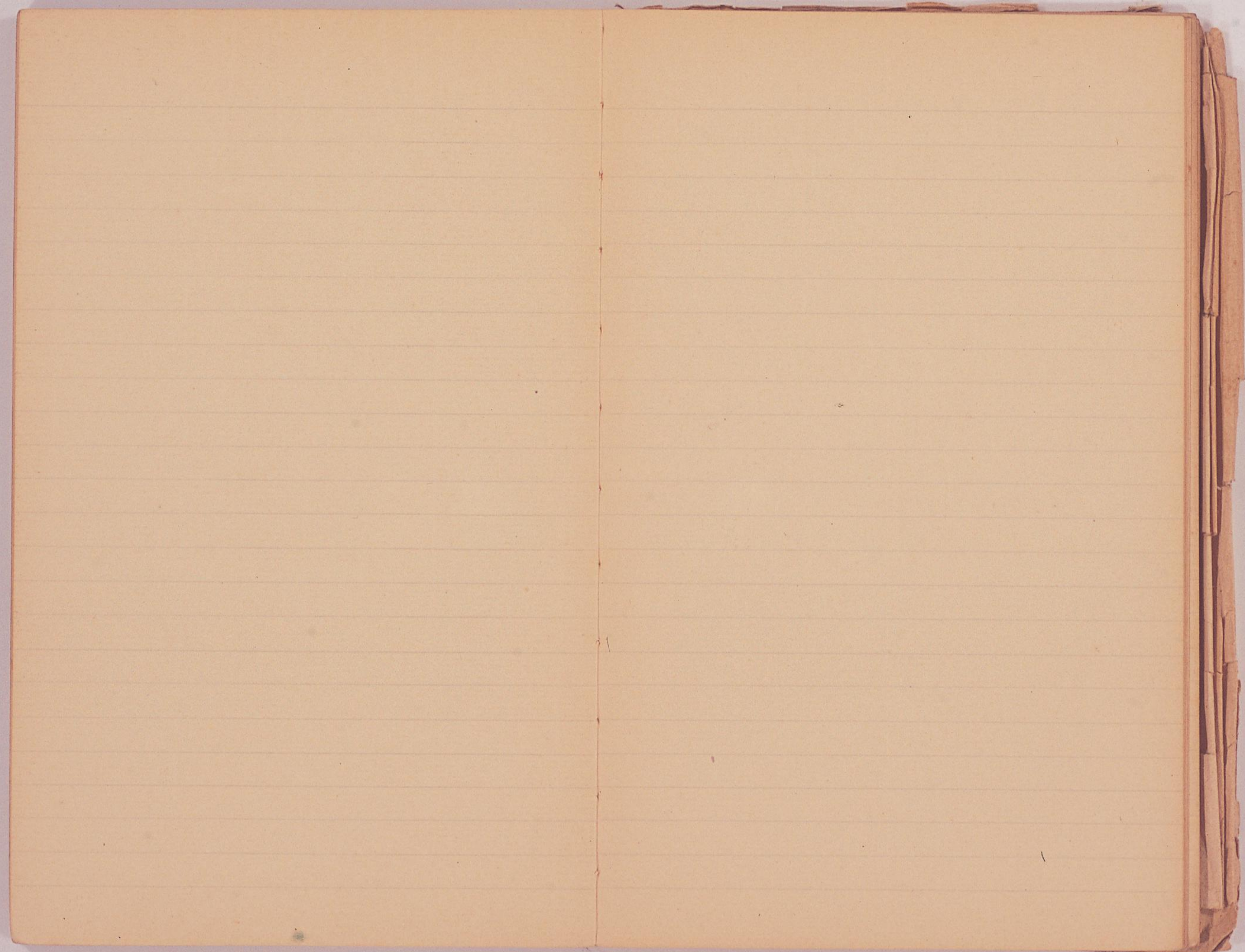
Ricardoの理論は二つの部分に分れる。第一、資本の増大に基く利潤率の増減(利潤の増減
不変)に比例して減少する。Ricardoは之を認めず。蓋しRicardoのpointより考察したる故也。
第二、労働の生産物と他の生産物の賃金労働の賃金より大なるべし。Ricardoは之を認めず。
蓋しRicardoのpointより考察したる故也。

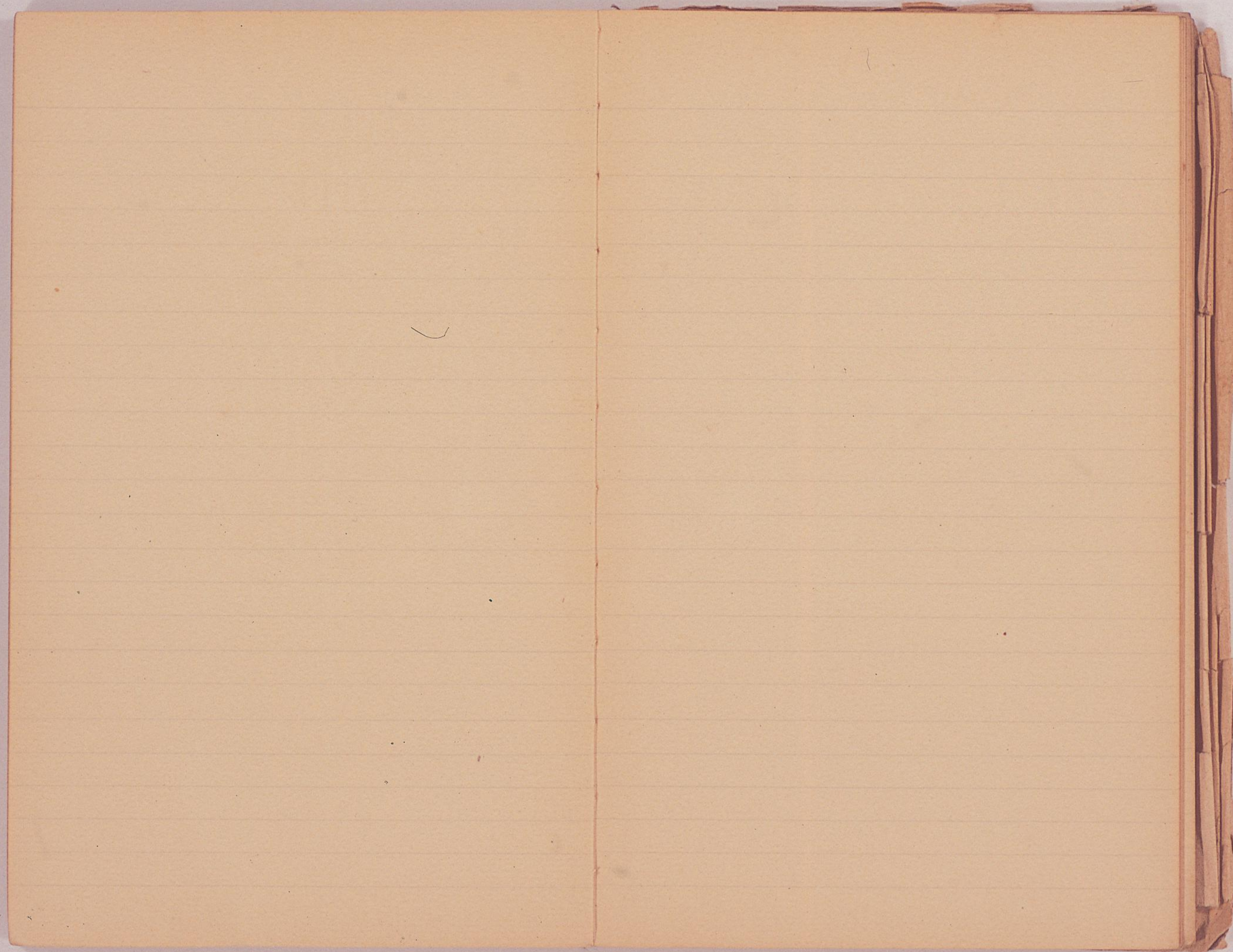
金数	资产			折旧价值	折旧价值与总资产之比
	可变	不变	总计		
A	100,000	100,000	200,000	100,000	1:2 (50%)
B	100,000	300,000	400,000	100,000	1:4 (25%)
C	100,000	500,000	600,000	100,000	1:6 (16.6%)

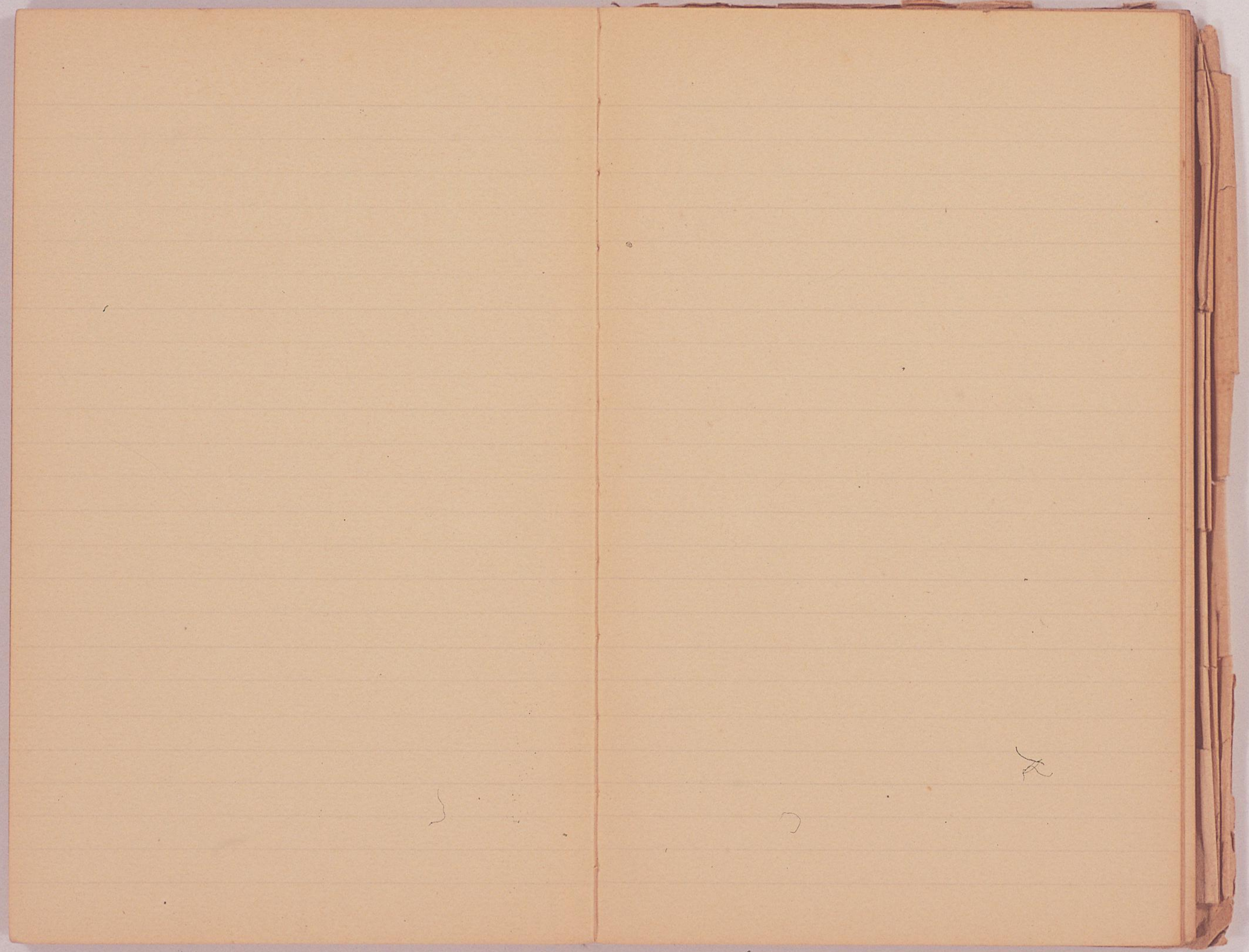
金数	总资产	折旧价值	年折旧额与总资产之比	折旧率	折旧	年折旧额与总资产之比
A	200,000	100,000	300,000	25%	50,000	25%
B	400,000	100,000	500,000	25%	100,000	25%
C	600,000	100,000	700,000	25%	150,000	25%
合计	1,200,000	300,000	1,500,000	25%	300,000	25%





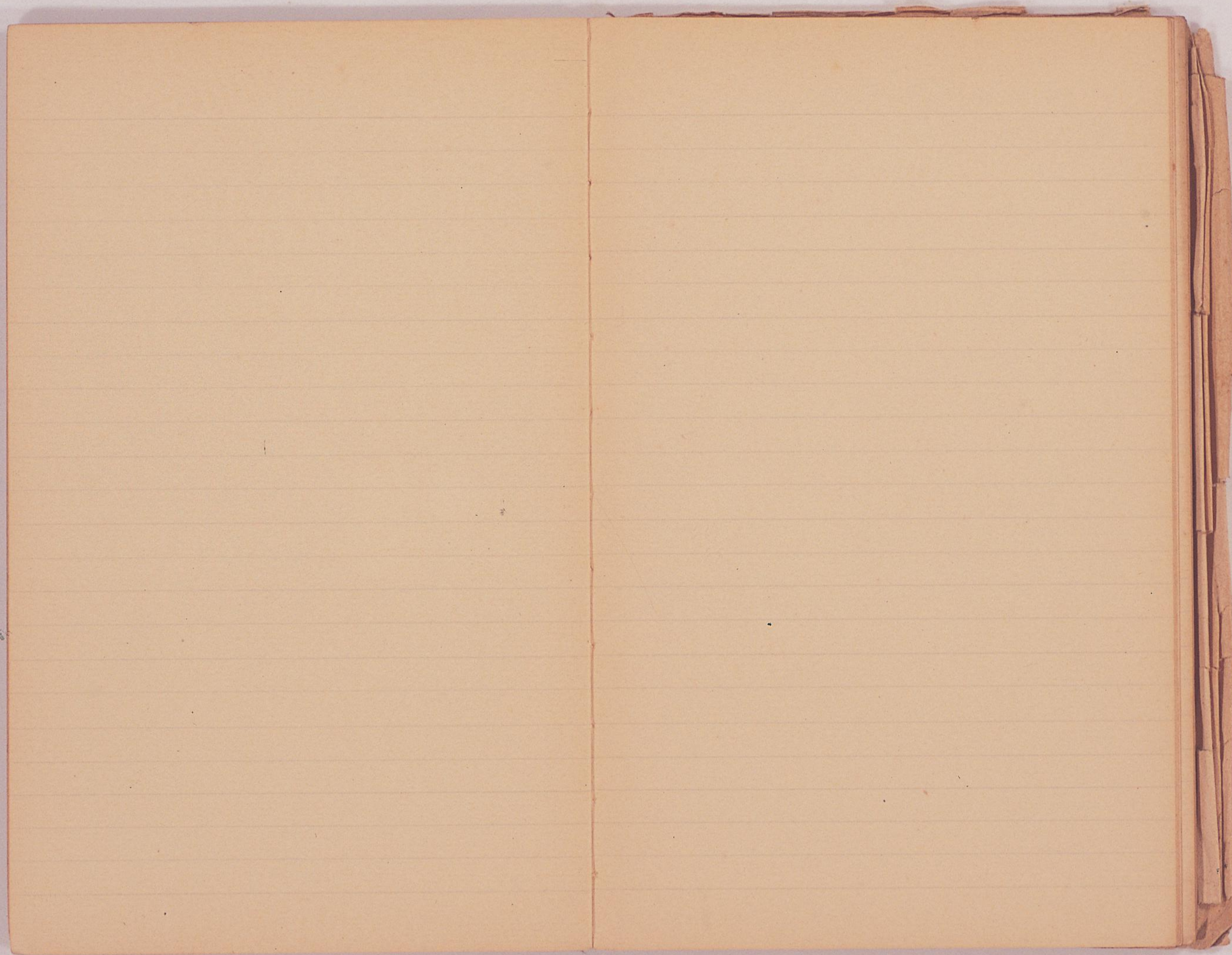






説明 ターゲット

これより **22** 枚
白紙が続きます。
白紙分の撮影を
省略します。



1935年b. Ricardo.

安藤	保
明石	達夫
井上	四郎
池田	清彦
石井	規矩男
石原	秀太郎
今南	智吉
植田	研三
小田	二郎
大岡	廣
大野	清一郎
大嶺	宏太郎
大和田	俊一
岡部	聰明
岡本	利正
加藤	泰金
川森	栄一
川崎	太郎
菅野	小五郎
北川	欣一
文保	哲夫
草野	信男
小出	脩夫

小佐田 忠男
上郎 幸二
佐藤 繁
三枝 守雄
坂本 珊朗
霜村 節次
鈴木 宣生
田島 守邦
宮木 讓二
高 弘
竹下 美老
館 稻森
德永 榮熊
奈良 一雄
中野 正一
中村 敏夫
夏目 吉雄
西垣 長隆
西出 安彦
野口 衡
橋本 長正
日下 敬典
樋口 俊二

福島	滿				
藤岡	春彦				
藤村	喜好				
穂積	隆重				
齋田	正吉				
安川	一				
山北	一				
山田	知之				
四本	修				
横山	繁壽				
若林	晋				
植田	穎二	昭八	a	340-384	
大島	忠男	全	a	a	
加賀美	忠男	全	a	a	a
川島	義	全	a	a	a
木村	繁雄	全	a	a	a
田原	五郎	昭七	a	a	a
時枝	栄太	昭九	a	a	a
森	達	全	a	a	a
山野	富次郎	昭七	a	a	a
安田	香	昭八		384-248389	
山产	寿也	全	a	a	a
小西	克己	"	a	a	a

(1) 381-382頁

(2) 256頁

T		
A.	B.	C.
1.14	100	100
2.4	1000	1000
	10000	10000
	100000	100000
	1000000	1000000

ounce Gold = 1 Bushel wheat
 2 ounce Gold = 1 1/2 Money
 1 1/2 Money = 1 Bushel wheat

福島	満					
藤岡	春彦					
藤村	喜好					
穂積	隆重					
齋田	正吉					
安川	一					
山北	一					
山田	知之					
四本	修					
横山	繁寿					
若林	晋					
植田	穎二	昭八	a	340-344		
大島	忠男	全	a	a		
加賀美	忠男	全	a	a	a	
川島	義	全	a	a	a	
木村	繁雄	全	a	a	a	
田原	五郎	昭七	a	a	a	
時枝	栄太	昭九	a	a	a	
森	達	全	a	a	a	
山野	富次郎	昭七	a	a	a	
安田	香	昭八		344- 248 349		
山产	寿也	全	a	a	a	
小西	克己	"	a	a	a	

1 ounce Gold = 1 Bushel wheat
 2 ounce Gold = 1 £ Money
 1 £ Money = 1 Bushel wheat

(1) 381-382頁

(2) 256頁

└

└

挿入文書

A.	B.	C.
1. 100 2. 101 3. 102	100 101 102 103-104	100 101 102 103

東京帝國大學教授 矢内原忠雄

經濟學部

挿入文書

咲花 音一 部	昭8	1	349-354	,
高橋 俊夫	昭9	a	a	a
村岡 隆志	昭10 理科	1	354-360	,
松田 智雄	昭8	1		,
平沢 直雄	昭8	1	131-134	,
相沢 芳吉	昭8		134-136	,
小坂 英夫	昭8			a
佐野 豊	昭8			a
平柳 誠	昭9			a
古市 俊一				a
太田 公平				a
栗本 一 柑	昭8			
柳内 操	昭7			
坂口 澤				

住所	姓名	年入	備考
原 喜雄	正男	昭利	65-67
利本	利本	昭利	65-67
村岡	俊聰	昭利	65-67
田岡	俊一	昭利	65-67
大和田	茂夫	昭利	65-67
大塚	宏太郎	昭利	65-67
大塚	喜一	昭利	65-67
大塚	清一	昭利	65-67
大塚	英雄	昭利	65-67
大塚	廣吉	昭利	65-67
小田	榮二	昭利	65-67
小倉	健二	昭利	65-67
植田	研三	昭利	65-67
岩本	敏三	昭利	65-67

March 6
" 19
東京帝國大學經濟學部
栗本 公平
東京市渋谷區北谷町四八
電話番五〇六一六三二

咲花 韶一市	昭8	1	349-354	、
宮橋 俊夫	昭9	a	a	a
村岡 隆志	昭10 遠科	1	354-360	、
松岡 智雄	昭8	1		、
平沢 直雄	昭8	1	131-134	、
相沢 芳吉	昭8		134-136	、
小坂 英夫	昭8			a
佐野 豊	昭8			a
平柳 誠	昭9			a
古市 俊一				a
太田 公平				
栗本 一雄	昭8			
柳内 操	昭7			
坂口 澤				

March 6 柳英
 " 19
 東京帝國大學經濟學部
 太田公平
 東京市澁谷區北谷町四八
 電話青山一六三二

七年入學
 柳內操

昭和八年入學	
經濟學部經濟學科	
姓名	栗本一雄
住所	
印	

東京帝國大學經濟學部學生
 坂口潔
 三重縣度會郡四郷村朝熊

挿入文書

第一外國語經濟學第一部

B A

備考。所屬氏名左ノ通り

B A 組

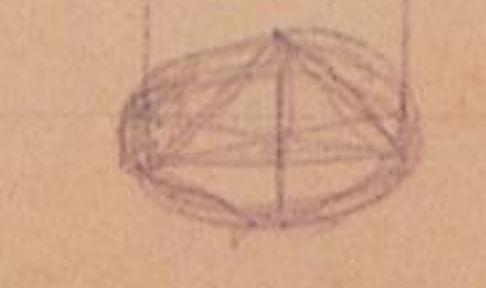
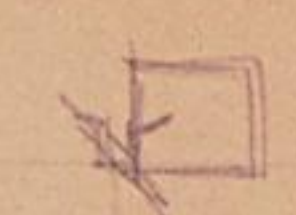
岡	岡	岡	岡	大	大	大	大	大	大	大	生	小	小	植	岩	今	今	石	石	石	池	池	井	井	秋	明	赤	安			
本	村	部	田	田	森	嶺	場	野	川	岡	沼	田	倉	田	本	關	井	原	川	井	田	田	口	上	山	石	木	藤			
利	俊	聰		俊	茂	宏	喜	清	英		榮	二	健	研	敏	智	眞	秀	敬	規	立	清	信	四	五	達	帶				
正	男	明	穰	一	夫	郎	一	郎	雄	廣	吉	郎	二	三	郎	吉	三	郎	介	男	一	彦	海	郎	郎	夫	刀	保			
菅	霜	櫻	坂	齊	三	佐	佐	神	上	小	小	小	小	倉	草	久	久	北	北	菊	菅	川	川	川	川	川	加	奧			
原	村	井	本	藤	枝	分	藤	津	郎	玉	田	暮	出	田	野	田	保	村	川	池	野	崎	崎	保	多	上	藤	村			
喜	節	正	珊		守	純		久	幸	貞	忠	文	脩	眞	信	泰	哲	正	欣	周	小	庸	太	康	榮	武	泰	昌			
雄	次	己	朗	昌	雄	一	繁	雄	二	二	男	吉	夫	一	男	二	夫	雄	一	藏	五	郎	夫	郎	雄	一	雄	金	三		
橋	袴	野	沼	西	西	西	二	夏	中	中	中	中	中	奈	名	德	常	館	竹	竹	高	高	高	高	田	田	田	鈴	木		
本	田	口	田	出	田	垣	宮	目	山	村	村	野	尾	良	古	永	見		村	下	山	原	橋	木	尻	島	儀	木	宣		
長	福		正	安	豐	長		吉	敏	宏	正		一	和	榮	二	稻	和	美		正	讓	晴	守	久	宣					
正	市	衡	人	彦	士	隆	淳	雄	茂	夫	一	一	清	雄	夫	熊	郎	呂	夫	光	淨	弘	夫	二	資	邦	人	生			

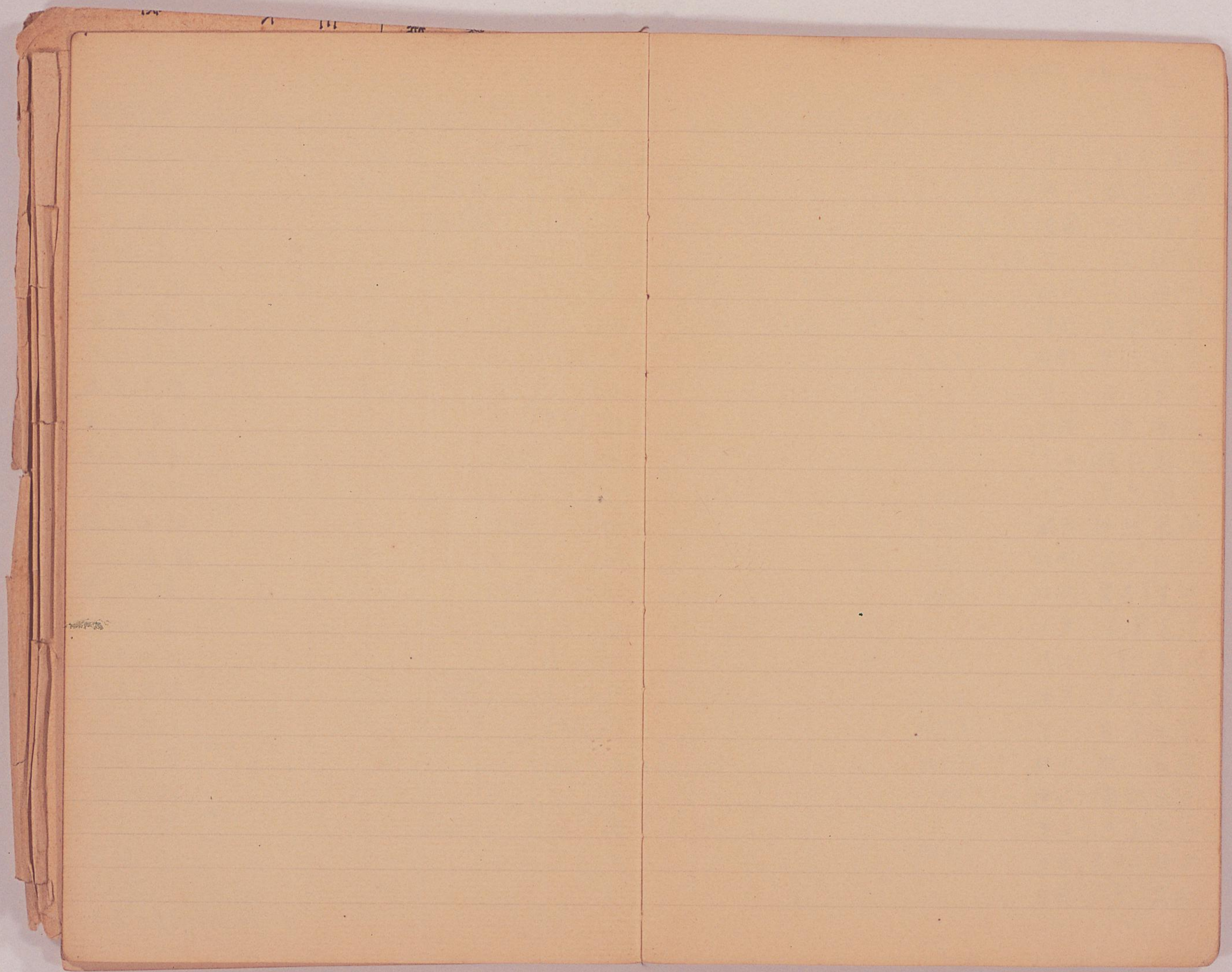
挿入文書

昭九. 885 外語
Malthus, Population (7th Edition)

	April 24	May 1	May 15	Sep 15	Dec 6	Dec 21	1935 Feb 1
青野了	02.7	1-3					
荒川石介	02.7年	ch 1 bad					
福本俊雄	02.7年 水戸	ch 2 bad	a		a	a	a
樋口正保	02.8	ch 3			a		a
市川弘勝	02.8		ch 5		a		
今城俊作	02.9	a	ch 12 ^{good}		a	a	a
今村成男	02.9		ch 13				
石川義雄	02.6		ch 14 ^{good}		a	a	a
金久好			ch 8 (Book II)				
金井俊雄			ch 9 (")				
宮崎重孝			ch 13 (") ³⁰⁴		a	a	a
水野重幸	02.7		ch 13		a		
長畑惣三			Vol II, ch 1		a		a
西京陽三			ch I		a	a	a
小川誠			ch II		a	a	a
補陀岩雄		a		a	a	a	a
大友明	02.7			ch IV	a	a	a
杉韶夫		a		a	a	ch III, IV ^{good}	
曾根初馬				ch XIV	a	a	
白川義正			a	a	a	a	a
高井彌				a	a	a	a
高松長衛			ch a	a	a	a	a
外山茂	02.7	02.7		ch T	a		a

姓名	年次	月日	備考	部	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
内田 茂	昭7	Apr. 24	May 24	CHVI												
内田正次郎	昭7				PRIV. ch I											Feb. 1
上原 悌三	昭7		a	病欠		a	a									a
千々和 茂	昭7			ch VII												a
村野 孝						a	a									a
菅野 田治						a	a									a
須藤 節	昭6		a	ch XII		a	a									a
諏訪 圭三	昭8			a		a	a									a
金光 義邦	昭7		a	a		a	a									a
室 清	昭7								ch V							
大木 政吉	昭7			ch XI				a								a
大隈 信幸	昭7			a		a	a									a
清水 敏明	昭7		a	ch VIII		a	a									a
田中 慎一郎			a	a		a	a									a
豊 嶋 清	昭7		a	ch IX good		a										a
白井 茂	昭7			ch X		a	a									a
山中 四郎	昭7			a		a	a									a
神 先 秀 雄	昭7		a	a		a	a									a
三浦 啓三	昭7						a									a
上原 一郎	昭8			ch XIII		a										a
江崎 孜	昭8			a		a	a		ch VII good							a
井上 深	昭8			a		a	a									a
関 嘉 彦	昭8			a		a	a						ch XI			a
辻 慶三	昭7			a		a	a									a
宇 宮 勲				a		a	a							ch VII IX		a





Ricardo 昭和8年2月 (一)

		May 4	Sept 21	Feb 21
安藤次郎	一京	81-6		.
相沢幸雄	成蹊	87-89		a
天野利夫	慶京	810-12		.
伊藤正	一京	813	a	.
伊藤正环	山形	2	.	.
生田幸夫	弘京	2	a	a
今村成男	浦和	814.15		.
上原一郎	一京	a 2		.
小倉要	新按	819		.
小俣信雄	水产	816		.
大島忠男	"	818		a
岡島熙明	成蹊	817		.
岡山三郎	浦和	820		.
加賀美忠男	松江	819		a
片多草吉	東京	a		.
川島義	水产	821		a
川巴季夫	東京	822		a
岸上英吉	一京	895.96		.
栗本一雄	山形	897.98		a
小岩吉衛	弘前	ch. IV.		.
小西克己	三京		a	a
小林三彦男	東京	a ch. XXX		.
佐藤元	府京		a	.

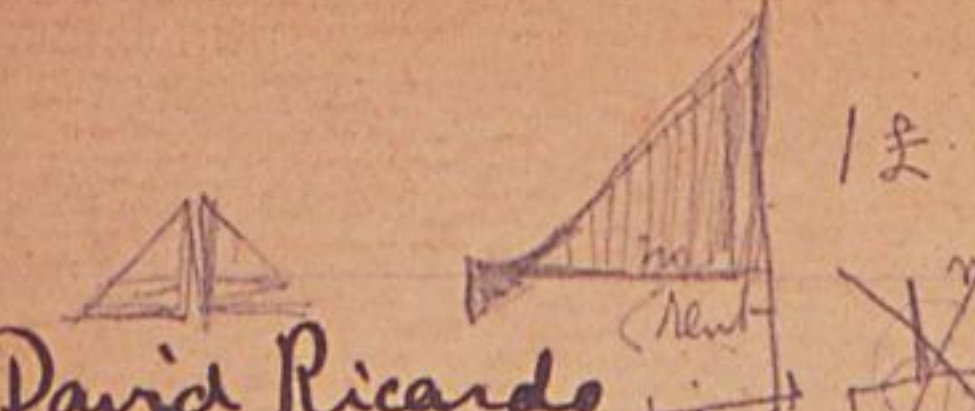
		Sep 21.	Feb 22
坂口 潔	廣島	P.44-48.	a
酒井 博雅	八宮	P.49-53.	,
咲花 韶一郎	成城	a	a
信田 正	松山	P.54-61.	,
鈴木 重雄	八宮	62-64.	,
田 鍋 守正	"	a 312-318	,
高野 日出男	松山	a 318-324	,
高見 嶽	三京	392-395. ✓	a
瀧 正明	東京	396-404. good.	,
玉井 英次郎	府京	404-411	,
中江 實孝	七京	a 411- 412 ⁴¹⁵	a
中倉 喜彦	五京	a 415-420 ^{世為}	a
野口 延雄	水戸	a a	a
塙 善多	"	a a	a
垣野 重利	五京	70-75	,
藤澤 三良雄	松本	a 75-80	,
藤原 章	八京	80-86	,
松井 重康	姫路	a a	,
水野 庸太郎	高知	a a	a
宮村 弦明	五京	87-92	,
阿田 喜久	松山	92-98	,
安田 祿郎	府京	98-102 good.	,
山下 重雄	佐賀	102-107	,

			Sept 21	Jan 18	Febr
山戸毒也	廣島	a	a	a	a
吉川精	富山		272-277	good	
吉本弘次	福岡		277-280		
渡辺淳	八重		280-284		
佐藤敏夫			108-113		
木原行雄			113-117	(註)	a
坂本新			a	a	a
荒木敏鎌			119-121		
岡谷正男	八重		121-126		
鈴木鴻一郎	註. 6		305-308		
金子久	註. 7		309-313		
中川一			a		a
柳内操			a	a	a
水野重幸					
小太刀幹一			a	a	a
降幡金次	註. 6		a		
松本政一	註. 7		a	a	a
福士次郎	註. 8		377-381		
楠原龍爾	註. 8		381-384		
大田公平			384-391		
玉水米作	註. 8				
金光義卯	註. 8				

foreign trade
 1 rate of export items
 2 capital as % of P.E.
 22 home trade as % of P.E.
 23 as % of revenue
 (revenue, capital as % of P.E.)

Revenue
 Capital

home trade.

David Ricardo  1772-1823. born at London.

父 Abraham Ricardo.
14才の時父と仲良し
 married at the age of 21.

1809. "High Price of Bullion"
stock

1819. Retired from the Exchange.

" M.P.

1823. Gloucestershire. Estate 100000. 遺産 70万ポンド。

経済学の研究は 1799. Smith & W. of N. による。

Translations.

坂 経夫. 「リカードの経済学」 (全版全訳) (342頁)

小島行三. 「リカードの経済学」 (全訳全訳) (全訳全訳)

Literature.

小島行三. 「リカード研究」

坂 経夫. 「リカードの価値論及其批判史」

表 耕一郎. 「リカード価値論の研究」

アモン. 「リカード」 (原部多. 訂正版全訳)

Ammon, Ricardo als Begründer der theoretischen Nationalökonomie.

Influences

ゴッホ — J.S. Mill (全訳全訳)

Marx, Rodbertus, Prondon, Lassalle, Henry George.

Ricardian Socialist — Hall, Thompson, Gray,

(Bentham) Hodgskin, Bray, Edwards. (19世紀後半)

リカード (価値論) (価値論) (価値論)

